

23年の動き

24. 12. 27【放射能対策課 除染担当】

○学校の除染（予算 709,676 千円）

- ・小中学校の校庭、幼稚園の園庭等の除染を先行させた。23年中に完了。
- ・校舎＝富成小学校を徹底除染。 小国小学校、柱沢小学校校舎なども実施。
今後も、線量の高い地域の小中学校の除染を行っていく。
- ・プール＝富成、小国、柱沢、月舘などの各小学校、松陽中学校を実施。

○民家の除染（予算 324,000 千円）

- ・7月22～24日 霊山下小国松ノ口地区の3軒の実証実験を行なった。
その成果を生かし、仮置き場が見つかった地域から本格的な民家除染を開始。霊山の下小国地区と月舘相葭地区で34戸を実施。今年度中に300戸を目標に取り組む。

○通学路の除染（予算 30,000 千円）

- ・廃棄土壌の仮置き場を確保しながら、年度内に実施の予定。

○公園等の除染（予算 424,700 千円）

- ・都市公園、森林公園など55箇所を年度内に除染の予定。

○市有施設の除染（予算 120,000 千円）

- ・紅彩館、小国ふれあいセンター、坂ノ上集会所、花工房、月舘運動場の5箇所を除染。
小国ふれあいセンター、月舘運動場では、県の実証実験とタイアップしている。

○線量低減化活動支援事業（予算 25,000 千円）

- ・通学路等の除染を住民団体、PTAなどが行なう場合50万円を補助。
市民協働による取組み。69団体が申請、実績報告提出済み9団体。

○除染支援センターの設置・運営（予算 28,000 千円）

- ・市民による除染の支援、専門家による測定、相談などを行なっている。

○除去土壌の仮置き場整備（予算 260,000 千円）

○農地の除染（予算 655,000 千円）

- ・桃畑、牧草地等で実証実験を行なった。
樹園地については、樹体の高圧洗浄、粗皮はぎを実施。
水田は、ゼオライトとケイ酸カリを散布する。

○森林の除染（予算 57,000 千円）

○「汚染状況重点調査地域」の指定

- ・伊達市など、県内40市町村（全国では102）が指定予定＝12/28 告示
- ・1月1日、特措法が完全施行
- ・1月以降、除染実施計画の策定、環境大臣と協議、法定計画となる。